

科目	国際関係	単位数	2	学年	3	学級	DH 系列	学科	国際教養科
----	------	-----	---	----	---	----	----------	----	-------

学習の到達目標	戦後国際政治と国際経済のしくみを学ぶことを通じて、国際社会が抱える諸問題を主体的に考察させ、公正な判断力を養い、グローバル社会の一員として必要な能力と態度を育てる。
使用教科書 副教材等	教科書「新現代社会」 帝国書院 授業時に資料プリントを配布

学期	月	学習項目	学習内容の説明
前期	4	1 国際政治と国際法	国際政治と国際法について、具体的な事例を通じて学習する。 ① 戦後国際政治の動向 ② 国際関係の基本的要因 ③ 国際法
	5	2 国際連合の原理とはたらき	国際連合の原理とはたらきについて、具体的な事例を通じて学習する。 ① 国連の原理としくみ ② 国連のはたらき
	6 7 9	3 国際政治の諸課題	国際政治の諸課題について、具体的な事例を通じて学習する。 ① 核兵器・軍縮問題 ② 民族問題と地域紛争 ③ パレスチナ問題 ④ 南北朝鮮問題 ⑤ 旧ユーゴスラビア問題 ⑥ 国際社会における日本の役割
後期	10 11	1 貿易と国際収支	貿易と国際収支について、身近な例を通じて学習する。 ① 国際分業と貿易 ② 外国為替と国際収支 ③ 円高と円安
	12 1	2 国際協調と国際経済機関 3 国際経済の諸課題と日本の役割	国際協調と国際経済機関について、身近な例を通じて学習する。 ① 国際通貨体制 ② 世界の貿易体制 ③ 地域的経済統合 国際経済の諸課題と日本の役割について考える。 ① 南北問題 ② 日本の貿易と経済摩擦 ③ 経済協力と日本の役割
評価の観点及び評価の方法	関心・意欲・態度	常に、問題意識を持ち授業に真剣に取り組むとともに、自ら進んでニュースや新聞に親しみ、最新の情報を収集する能力を高めてもらいたい。	
	思考・判断・表現	様々な情報を収集・分析し、出来事の背景を主体的に考察する力と、公正な判断をする能力を身につけてもらいたい。	
	資料活用の技能	授業時配布の資料だけでなく、新聞やインターネットなどのニュースを積極的に吸収し、資料を活用する方法と分析する能力を高めてもらいたい。	
	知識・理解	現実に行っている国際問題を正しく分析するために、おもな国々の政治的・経済的特徴を理解してもらいたい。	
	評価方法	前・後期とも、考査の点数を基本に、出席状況・ノートや課題の提出状況などの平常点を加味して評価を行う。年間を通じての評価は、前・後期の平均とする。	
担当教諭から	日々、報道される日本を取り巻く国際関係の様々なニュースをよりよく理解するために戦後の国際政治と国際経済を学ぼう。		